

3月定例会 町政を問う 一般質問



AQ 高校の魅力づくりは 県の新規事業で対応

小野 覚議員

①飯南高校の魅力づくりを目的とした「飯南高校ドリーム思援会議」の取り組みが期待されているが、高校の存在意義をどのように認識するか。
②島根県が平成23年度より新規事業として、「離島中山間地域の高校魅力化

活性化事業」に飯南高校も対象校となり、3年間の事業費が1500万円だが町の対応は。
③飯南高校の魅力づくりは、まちづくり政策と一体的に進めるべきであり、町長部局に特命担当職員を配置する考えは。

山崎 英樹町長

①飯南高校は多くの人材を輩出し、地域の活力や活性化に欠くことのでき



AQ 転作に公社を活用 事務局体制を検討

門 眞一郎議員

転作の割り当て数量は拡大が予想されており、これに備え、作業受託組織の確立と農業機械リース事業の創設により農業組織等へ過大な負担を掛けない仕組みづくりが急務だ。また、分散した転作圃場の作業受託と作業者へ手配を行うマネージャーの設置、經理のサポートなどが要する。
農業公社を活用して、問題解決を図るべきでは。また担い手組織を束ねて、管理する機能をつくる考えは。



大豆の刈取

山崎 英樹町長

農業機械リース事業の創設や活動の中心となる人材配置などにより、集落営農を加速させるなど、新規農業者の参入や健全な農業経営を目指すことは、本町にとって大切な考えであり、関係者や集落と話し合いながら進める。
昨年6月の法改正により、飯南町が農地利用集積団体化団体になって農地の集積事業を行っており、農業公社が行うのは不適當だ。
事務局体制（マネジメント組織）づくりは、J・A・行政・各種団体が一緒になって検討を進める。

AQ 連坦地の空き家の雪害対策は 町条例での対応を検討

門 眞一郎議員

連坦地には空き家が点在し、雪降ろしがされないまま放置され、倒壊や軒の破損など被害が発生した。
家屋の倒壊により、児童や通行人や隣家のほか、電線などに被害が及ぶ可能性がある。

所有者と十分に協議して、定住促進空家住宅として協力をお願いするべきだ。また、所有者が不明の場合は法的な措置も検討すべきだ。

山崎 町長

危険な空家は自治会長を中心に所有者へ連絡をした。また、今回の豪雪では地区担当職員が見回りを行い、役場からも所有者へ雪降ろしをお願いした。
通学児童の安全確保は、先生が登下校時に随行された。
所有者不明の空家住宅は、町条例で対応が出来ないか検討を始めている。

AQ 神話で地域振興を 県と共同展開を

門 眞一郎議員

県では古事記編纂1300年を記念してさまざまな行事が企画され、神話のふるさと島根を強く印象付け、観光客数の拡大を図っている。
本町では、有志により

銀山街道を訪ねる会を組織し、四度の銀山街道ウォーキングを開催、上赤名は出雲風土記にある野見野の地であり、相撲の始祖野見の宿禰の生地と言われており、スクネブランドの商品開発を行っている。
眠れる神話や伝説を掘り起こし、住民と共有しながら、観光客の誘致や地域の活性化につなげていく考えは。



志々乃村神社

山崎 町長

歴史文化資源を活用して地域に活力を生み出すことは大切なことだ。
県の神話のふるさと島根推進事業を活用し「飯南町神話のふるさと推進協議会」を立ち上げ、本町の魅力を再確認し、住民団体等で開催される企画やイベントなどの掘り起こしや共催で地域の活性化や観光交流事業展開につなげる考えだ。



泉川定住住宅

AQ 定住対策は進んだのか 重要課題で取り組んだか

小野 覚議員

改正前の過疎法が始まって以来10年間の成果をどのように評価しているか。
本町は定住対策を重点にまちづくりを進めてきたが、人口の減少、高齢化の進行、労働人口の減少は深刻な状況だ。

本町のI・Uターンの対策は。
山崎 町長
過疎対策事業の前期5カ年は旧町単位で実施、後期5カ年は新町で計画を策定し事業実施した。この10年間で、ハード事業に179億円余、財源として過疎債を65億円余活用した。

ない拠点である。クラブ活動で大きな成果を上げるなど存在意義の評価が高い。
先般の雪まつり、54号の清掃奉仕など地域づくりに大きな貢献を頂き感謝している。
②県事業で、町に主導権はないが、団体等を支援しながら、事業を活用していきたいと思う。

③町職員での対応は考えていないが、平成23年度は、飯南高校に非常勤コーナーディネーターを配置する。

定住対策の成果は、定住相談、空き家バンク制度の創設、職業紹介所の開設、定住助成制度等によって、I・Uターンの確保に努め重要課題として取り組んだ。



飯南高校